

【要援護者名簿について】

①寝屋川市の要援護者名簿作成について

◆知っていますか？

	聴覚	内部	知的	肢体	視覚	精神	計
知っている	10	5	26	15	9	2	67
知らない	18	8	31	30	16	9	112
案内がない	9	2	8	11	5	3	38

◆知っている方…登録しましたか？

	聴覚	内部	知的	肢体	視覚	精神	計
登録した	7	5	15	9	8	2	46
しなかった	4	3	15	13	4	3	42

◆登録しなかった理由

- ・家族もいるし自分でもまだ動ける
- ・自力で何とかできると思った
- ・引っ越しをしてきて間がなかったから
- ・特に支援はいらないが、相談には乗ってほしい
- ・近所や自治会に知られたくない
- ・名簿の取り扱いに不信感があった
- ・要援護者名簿の意味がわからなかった
- ・18才未満で、実施時対象年齢でなかった
- ・忘れていた
- ・入所施設に居るため、登録しなかった
- ・覚えていない

◆登録後、名簿もしくは避難のことについて何らかの連絡はありましたか？

	聴覚	内部	知的	肢体	視覚	精神	計
なし	7	5	14	5	9	3	43

◎あり 民生委員から 4人 地域の支援者から 1人

②要援護者名簿の取り扱いについて、法律が変わったことを知っていますか？

	聴覚	内部	知的	肢体	視覚	精神	計
知っている	2	0	6	5	1	0	14
知らない	40	16	56	50	29	15	206

◆災害発生時に、「要援護者名簿」が公開されることについて、どう思いますか？

- ・いいと思う(多数)
- ・構わないと思う
- ・必要です
- ・しかないと思う
- ・安否確認の為に良いと思います。
- ・問題ない
- ・いいことだと思う。家族だけでの避難は困難なので
- ・災害発生時に当然公開されていい
- ・家族が同意しているなら良いと思う
- ・命を救うことが先決なので公開は当然。
- ・公開しないと活用できないので、公開はいい
- ・それは、仕方がないと思う。でないと本人だけでは何もできないし、家族がいつも一緒という訳にもいかず、もし居ても支援ができるかわからない。
- ・家族と一緒に公開しなくてもいいと思うが、どんな状況になるのかわからないので、公開でいい
- ・適切に支援を受ける立場としては、状況を把握してもらう必要がある。個人情報保護しながらできる事ではない。
- ・名前が公開されることで、安否確認がスムーズにできるのであれば良いと思うが、絶対に悪用されない様に配慮してほしい
- ・どの程度の公開なのか不安。登録したら活用してほしい
- ・必要な時ならいいが、プライバシーの問題がある
- ・公開してほしくない
- ・わからない

◆備考

・要援護者名簿について

寝屋川市では、平成23年2月に要援護者名簿作成のために、障害者手帳保持者の一部を対象に、名簿作成の同意を取りました。

18才以上の身体障害者手帳1・2級 療育手帳A を持っている人、65才以上の人が対象でした。同意の方法は、郵送で同意書を送り、同意する人は返送する方法でした。しかし、郵送された3000人に対して、約1割の登録しかなかったと聞いています。

今回のアンケートから、要援護者名簿に関する当事者の思いが見えてきました。

登録がされなかった理由としては、対象の年齢ではなかった、障害者手帳の対象ではなかった、ということもありますが、対象だったはずの人の多くが、「知らない」「案内がなかった」「わからない」という答えが返ってきています。

このことから、障害のある方への周知が充分ではなかったのではないかと考えられます。

登録しなかった理由として、意味がわからなかったと答えている人がたくさんいます。

また、名簿の取り扱いについて、不信感を持った人もいました。近所や自治会役員に障害者であることを知られることに抵抗があった人もいました。

要援護者名簿の登録が、災害時に安否確認をするために必要であるという理解につながることができなかったことが、登録数の低さの要因であると考えられます。

これは、障害のある人に、正しい情報を伝える事の難しさを表していると思います。

新しい法律についても「知らない」と答えている人が90%以上いることも考えれば、今後の課題として、大切な情報をどのように「伝えていく」かを考える必要があります。

行政は、情報の周知の方法として市のホームページや広報で知らせていると、

言いますが、障害のある人へのより丁寧な説明が必要であると考えられます。

この事からも、寝屋川市は、法律で決められたように、要援護者名簿を、関係機関共有方式に早急に切り替え、市内に災害時に支援を必要とする対象者の人数がどのくらいいるのか、まず把握することから始めるべきではないかと思えます。